みわを元気に

三和地域協議会ニュース　第37号　令和３年５月２０日発行

三和地域の人口・世帯数
男　1,512人
女　1,594人
合　計　3,106人
世帯数　1,639世帯
（令和3年4月末 現在）

発行：三和地域協議会

みわひまわりサポート
７月スタート
ーちょっとした困りごとを助け合いー

「三和を暮らし続けられるまちに」していくため、三和地域協議会では３年半前から「みわひまわりライド」事業を開始し、誰もが気軽に移動できるよう支援をしてきました。住民の皆さんからは「安心して買い物や受診が出来る」、「運転手さんがいつも親切にしてくれる」といった感謝の言葉をいただいています。

一方、高齢化が進み一人暮らしの人も増えてきているなかで、「ゴミ出しや分別」「扇風機や暖房機の出し入れ」「蛍光灯、電球などの取り替え」など、ちょっとしたお手伝いをして欲しいという要望が多く寄せられています。

そこで地域協議会では、福知山市、自治会長会や民生児童委員会、社会福祉協議会、福祉事業者などと協議を重ね、「日常のちょっとした困りごと」や「手助けしてほしいこと」を住民同士で助け合うしくみ、**「三和地域暮らしサポート事業」**（愛称：**みわひまわりサポート**）を本年７月から開始することにしました。

みわひまわりサポートは、利用会員（助けて欲しい人：**ひまわりユーザー**）のところへ協力会員（お手伝いが出来る人：**ひまわりサポーター**）が訪問し、一人では出来ないちょっとした仕事をお手伝いするしくみです。利用料金は500円（１時間あたり）、250円（30分以内）にしています。詳しくは先日配布したチラシをご覧ください。

この事業を利用・協力するためには、会員登録をしていただく必要があります。現在、**利用会員と協力会員を募集**しています。いずれも登録は無料です。また、協力会員には事前に、「講習会」を受けていただくことになっています。

この事業を利用したい、また協力会員としてお手伝いしたいと思われる人は、三和地域協議会（電話：５８－４１３０）までお問い合わせください。また、地域の民生児童委員さんにも相談に乗っていただけます。

住民みんなの力で、三和地域を「暮らし続けられるやさしいまち」にしていきましょう。

第８回総会を開催しました

４月10日、三和地域協議会の第８回総会を三和荘で開催しました。代議員総数65名のうち42名が出席（別で委任状16通）いただき、令和２年度の事業報告・決算、および令和３年度の事業計画・予算案が承認されました。

新型コロナウイルス感染症対策として、入口での検温と消毒、三和荘協力のもと会場の換気を行いました。また、長時間の開催を避けるため、総会後の講演は行いませんでした。

今年度から、新たに「三和地域暮らしサポート事業」として、住民同士の助け合いシステム・愛称「みわひまわりサポート」を開始する予定です。また、福知山公立大学生からの提案をもとに事業化する「三和ふるさと写真コンテスト」を今年実施します。

今年度も、三和地域協議会の活動への積極的なご参加、ご支援をよろしくお願いします。（事業計画は裏面に掲載）

三和地域暮らしサポート事業について説明

観光協会三和支部の発展的解消について

タダでさえ人口の減少する三和地域、コロナの影響か往来する人を目にすることさえない日があります。

そんな中で令和３年度の「福知山観光協会三和支部通常総会」は４月23日に開催されました。事業の大半が延期や中止となる状況での総会は、大半の賛同を得て議決され終了しました。

そんな中で特筆すべきは、福知山市に合併し、約10年を経た今日、支部という枠組みを外し、福知山市本体の観光協会エリアへと編入する提案を全会一致で前向きに受け止めてくれた事です。

大原神社をはじめ、由緒ある神社仏閣は存在するものの「観光」に訪れる要素の少ない当地ですが、癒しを、新鮮素材を求め近郊を散策するのに適当な京阪神から90分、生まれ育ち熟年に至った我々とは発想も感覚も斬新な若者（移住者含む）がこの地の主役になる日もそう遠くないでしょう！

新たな感覚の「観光協会」が、三和を拠点として息づくことを期待します。

福知山観光協会三和支部長　大槻 昭則

あいさつ運動 今年も元気に

毎月あいさつ運動の日に合わせて放送する声の収録に、今年も三和学園から６年生３人が来てくれました。６月10日夜・11日朝から放送予定です。

みんなであいさつをして、笑顔で元気な町になりますように！

今年お世話になった３人と先生

ウォークラリー延期

三和地域協議会主催のこどもイベント「こどもウォークラリー」は５月30日に開催を予定していましたが、緊急事態宣言の延長を受け、延期することになりました。（時期は未定）

みわ夏まつり 今年も中止

また、毎年８月14日に開催している、三和の夏の風物詩「みわ夏まつり」は、今年も中止することが幹事会で決定されました。

ラジオは…ニコラさんご夫妻

今回はリモートで！

FM丹波で月～金曜午後４時から放送中の番組「七色バラエティワイド」内で隔月１回、三和地域協議会が三和地域の情報を発信している『みわを元気に』のコーナー。第22回が４月27日に放送されました。

今回は、上川合で農家民宿「ふるま家」を経営されているペリエ・ニコラさん、沢田さやかさんご夫妻をゲストに、初のリモートでの放送となりました。

上のQRコードを携帯電話やスマートフォン・タブレットで読み取り、出てきたリンク先をクリックすると、内容をお聞きいただけます。（通信料がかかります）

朝はごはんと納豆、梅干し、味噌汁を食べないと働く元気が出ない！というニコラさん。日本に住むまでのいきさつや、上川合での暮らしについてお話いただきました。田舎暮らしって素敵だなぁ、って改めて感じました…！

図書館からのおしらせ

三和分館は、市内の新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館中です。
なお、下記のサービスについては実施しています。
・電話とインターネットによる本・雑誌等の予約受付（予約していただいた本が、ご用意できましたら連絡しますのでご来館ください）
※今後の状況により変更になる場合があります。

令和２年度下半期貸出しベスト10

①	クスノキの番人	東野 圭吾／著
②	少年と犬	馳 星周／著
③	流浪の月	凪良 ゆう／著
④	あきない世傳金と銀　９	高田 郁／著
⑤	心淋し川	西條 奈加／著
⑥	あなたのご希望の条件は	瀧羽 麻子／著
⑦	江戸のおんな大工	泉 ゆたか／著
⑧	おとなになるのび太たちへ	藤子・Ｆ・不二雄／まんが
⑨	灯台からの響き	宮本 輝／著
⑩	とわの庭	小川 糸／著

電話予約など、分からないことがありましたらお尋ねください。
福知山市立図書館三和分館　５８－４７１５

令和３年度事業計画(抜粋)

全体事業

新たに取り組む「三和地域暮らしサポート事業」と「三和ふるさと写真コンテスト」を成功させるとともに、福知山公立大学との連携をさらに生かす取り組み、地域福祉政策にどう関わっていくのか、工場立地やスーパー立地などを地域振興にどう結びつけていくのか、若者の様々な分野での活動支援などの課題に、地域の諸団体、諸活動と共同することを重点に取り組みます。

さらに、地域の定着した行事となった「みわこどもまつり」のほか、地域全体で取り組む「三和ふれあいフェスティバル」「みわ夏まつり」等の地域振興イベントについては、住民活動のよりどころとなる行事のこれからのあり方を考えながら、新型コロナウィルス感染症への対応状況を踏まえて実施していきたいと思います。

部会活動としては、「地域活力部会」、「生活基盤部会」で新たな課題に取り組むとともに、「交流・連携部会」の組織と活動を確立し、引き続き大きな課題である定住促進の事業についても、常任委員会・事務局を中心に各自治会や住民の皆さんと協力し、市と連携して進めます。

三和地域公共交通空白地有償運送事業（みわ ひまわり ライド）

運行５年目を迎える「みわ ひまわり ライド」は、三和地域住民の生活基盤を支える移動交通手段として重要な役割を担っており、ＰＲ広報において課題となっている高齢者等への周知については継続して行うとともに、地域内の実情に詳しい民生児童委員の皆さんとの情報共有等連携が必要となっています。今後は、新規の会員登録者や利用者数、運行便数の大きな増加は見込めないと予測されることから、確固たる事務局体制による運行を維持していくために必要な事務所機能の維持・地域住民の理解と協力・行政の適切な支援が継続できるよう地域内及び行政機関に働きかけていきます。

また、現在の登録運転手19人のうち約半数の10人が70歳を超えており、次の運送事業登録更新時期（令和４年９月）を見通して、５名程度の運転手の補充を行っていきます。

さらに市内の医療機関を受診する利用者の中には、ＪＲバスへの乗り継ぎによる交通費が大きな負担となっている実例もあり、「敬老乗車券」の適用など利用しやすい環境整備や本年度も継続する市のモデル実証事業の検証により制度化される補助支援の内容などについて市への要望を継続していきます。

三和地域暮らしサポート事業（みわ ひまわり サポート）

三和地域の人たちが何らかの理由で助けを必要としているとき、既存の制度（介護保険等）でカバーできない分野を、住民の助け合い・支え合いのしくみによって援助し、地域で暮らし続けていくことが可能になる事業が求められています。

三和地域協議会は、地域内の自治会・住民、民生児童委員、社会福祉協議会等の福祉団体・事業者と連携し、すべての住民が安心して暮らし続けることができるよう支援するため、「三和地域暮らしサポート事業」（愛称「みわひまわりサポート」）を実施します。

福知山公立大学連携事業

福知山公立大学がすすめる「地域密着型授業」として、亀井教授・軍司助教授クラスの１回生16人が、１年間三和をフィールドに学習します。

本年度は年度当初から地域学習が取り組まれる予定であり、昨年までのテーマをベースに新たな分野も加え、現地見学を行い、関係者が講師として講義と討論をする形式で取り組みます。１月には、１年間の学習成果を分野別に発表する機会も設けたいと考えます。

この取り組みを地域の元気に結びつけられるよう、住民の皆さんのご協力をお願いします。

空き家対策・定住促進事業

令和３年度も、当町の移住希望者への空き家の案内、調整、また空き家情報バンクへの物件登録の案内やお手伝いをしていきたいと思います。空き家の内覧・状況確認の際には、自治会長（組長）に事前連絡しご理解いただいた上で、市と連携しながら行っていきます。また、地域の方にもご協力いただきながら移住後のサポートもできればと思っています。「移住者交流会」については、市の各地域協議会とも情報交換し、移住者同士のネットワークを広げるお手伝いができればと考えています。

常任委員会

三和地域協議会の活動全体を考え執行していく機関として定期的に開催し、地域の求める課題に敏速かつ的確に対応できるよう努めます。また、行政機関や公立大学、各種団体との連携を密にし、効果的で効率的な事業運営をめざします。

令和３年度設置常設部会

令和２年度と同様とします。

地域活力部会

○みわこどもまつり

たくさんの親子連れがお越しくださるイベントのため、今年度も開催は難しいですが、何もしないのはあまりにも寂しいので、趣向を変え、親子で楽しめるウォークラリーを５月に開催予定です。密を避けるため定員を決めますが、ミニこどもまつりのような体験をしてもらえたらと計画をすすめています。

○みわふれあいカフェ

冬季休業を終え、令和３年４月から再開しています。今年度も月１回はコーヒー屋さんのオリジナルコーヒーを出すほか、ふれあいカフェならではの活動を模索していきます。

○三和音頭の普及

町内イベントに参加し、依頼いただけば踊りを教えに行くなど、三和音頭の普及に努めます。

○講演会等の開催

冬季の予定で講演会の開催を検討中です。

○ラジオ番組での広報活動

今年度も継続してラジオ番組での三和地域のアピール活動を行っていく予定です。

生活基盤部会

令和３年度は、これまで研究テーマにしてきた「地域福祉の在り方」に結論として、夏ごろには住民による助け合いの組織を立ち上げたいと、計画しています。

三和地域の高齢化は深刻で、核家族化の中、独り暮らしも増えています。肩を寄せ、助け合ってきたご近所さんも高齢化に勝てず福祉施設に移るなどして、いつの間にか減り、住み慣れたところで暮らし続けることが年々、難しくなっています。それぞれ福知山市や市社会福祉協議会などの協力を得て進めますが、何より住民の皆様の支援が欠かせません。だれにも訪れる老後です。心安らぐ暮らしが三和で将来にわたり続けられるように、組織への参加等、ご協力をお願いします。

新年度の部会活動は、市バスやＪＲバス、みわひまわりライドや福祉有償運送、各福祉施設や医療機関の送迎バス、スクールバスなど、それぞれ単独で運営されている地域内の移動手段について、より効率的で有機的な連携ができるのではないかという視点で、研究を進めたいと考えています。

交流・連携部会

前年度、福知山公立大学から提案のあった仮称「三和フォトコンテスト」事業に向けて、学生、先生の皆さんと実施要項、スケジュール等について協議し、**「CoCo　ショット（ここ！三和！）」―三和ふるさと写真コンテスト**―と、名称、要項についても決定しました。募集に向けての準備を進めます。

また、「持続可能な開発目標」として国際的な目標に定められているSDGs（エスディージーズ）、そのうちの１つの「住み続けられるまちづくり」も新たな課題として取り組んでいきます。具体的には下記の事例が挙げられています。災害に強い、安全に生活ができる社会的弱者への配慮、公共交通機関の整備拡大、人と人とのつながりを強化など…。

「住みやすさ」「暮らしやすさ」は人によって、また家族構成やその人の置かれている状況によって違い、変わっていきます。

今後も三和地域のみなさん、福知山公立大学、三和工業団地立地企業、移住者の皆様そして、三和地域協議会事務局、他部会との更なる連携を深め活動をしていきたいと考えています。

地域住民活動支援事業

さまざまな地域振興事業や、三和地域の維持存続を図り暮らす人が元気で過ごせるための活動をする団体や地域を支援します。また、地域活動を始めたいという人の相談をうけたり、各種の支援制度などについてアドバイスし、住民活動の活発化を図ります。

（１）三和荘存続と三和診療所再開に向けての住民要望について

三和荘の存続に向けての活動を、「交流拠点施設『三和荘』存続住民会議」に地域住民の総意を結集して、福知山市との協議をすすめます。あわせて住民が三和荘を支え、持続させていくための活動についても支援していきます。

また、現在休診中の三和診療所の早期再開について、自治会長会等の諸団体と協力して、市や医療機関に対して要望していきたいと考えています。

（２）地域住民組織との共同事業について

○みわ夏まつりの開催（中止決定）

三和の夏の風物詩として毎年開催している「みわ夏まつり」の実行委員会事務をＮＰＯ丹波・みわと分担し、コロナ渦での開催方法についても協議していきたいと考えています。

（３）一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社福知山地域本部三和支部事務局について

（福知山観光協会 三和支部事務局）

春・秋のハイキングや総会、理事会の開催、三和ぐるっとマップの普及活動、観光情報の発信など引き続き行事と組織運営の責任を担います。

（４）三和地域福祉推進協議会事業について

継続して、研修会や講演会、高齢者の見守り等の活動を計画し、地域で生活する上での様々な課題に住民自らが関心を持ち、地域づくりに主体的に関わっていくための〝きっかけ〟となるよう各団体で構成する「代表者会」で協議のうえ実施します。

広報紙「みわを元気に」の発行、その他の情報発信

定期的に広報紙を発行し、地域における住民活動情報の発信と協議会活動の理解促進に努めます。

また、フェイスブックやホームページを活用し、地域協議会の活動がより「見える」ものになるよう、発信していきたいと思います。

その他の事業

その他、三和地域の存続発展と、地域住民の生活改善、福祉向上につながる事業に取り組みます。

みわ ひまわり ライド　利用状況をお知らせします！

	累　計（平成29年10月 ～ 令和3年4月）
会員登録者数	140人（内訳：男性33人・女性107人）
利用者数	99人（内訳：男性23人・女性76人）
運行便数、輸送人数	2,219便、2,545人